

○学校の概要（平成15年4月現在）

東海市立大田小学校									
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	2	2	2	2	2	14	20
児童数	77	64	49	61	68	51	6	376	

1 本校が抱えていた本年度当初の課題

- ・「総合的な学習の時間」を通して育てたい力、児童像があいまいであった。
- ・体験活動は多く取り入れていたが、児童の主体的な学習態度はあまり見られなかった。

2 研究主題の受け止め方・目標設定

- ・東海市教育課程研究会の作成した市独自のカリの検証授業を実施し、よりよいカリをめざすことにした。
- ・「総合的な学習の時間」の中で、特に英語活動と日本文化体験活動を軸に、人とかかわる力の育成をめざすことにした。

3 本年度の成果と課題

(1) 成果

○英語活動

- ・全員が研究授業を行い、互いに授業を参観し合うことにより、教師一人一人が英語活動の基本的な授業の流れをつかむことができた。
- ・楽しみながら児童が英語に親しむ授業実践を進めた結果、1月実施のアンケートでは、88%の児童が英語活動の授業を楽しいと答えている。

○日本文化理解

- ・「興味を持った日本文化を体験するにはどうしたらよいか」という問題解決的な学習の流れにした結果、講師を捜す段階等で児童一人一人が主体的に活動することができた。
- ・今まで知らなかった日本文化に触れることにより、児童は自国の文化に興味を持ち始め、その技術を習得したいという意欲を持つことができた。

(2) 課題

- 児童生徒の変容を9年間のみで考えるのではなく、将来、国際社会の中で生きていく資質を養うという視点で研究を進めていく必要性を、教師一人一人が再認識する。

○英語活動

- ・授業の質を高めるために、めざす授業像をさらに明確にし、指導と評価の一体化を意識した授業改善を進める。
- ・授業で習得した英会話を使う場面として、本校独自の取組であるハロー集会、ハローウィークをさらに充実させる。

○日本文化理解

- ・楽しかったという感想しか残らない浅い体験活動に終始させないために、学習の動機付け、単元全体の流れを工夫する。
- ・活動の趣旨を理解してもらうために、外部指導者との事前打ち合わせを充実させる。

4 平成16年度に向けて

- ・教師一人一人が研究の流れを的確に把握して、主体的に研究に参加できるよう、全体で話し合う場を多く設定する。
- ・4校の研究の流れに沿って校内の研究組織を再編する。
- ・めざす授業像、育てたい児童像をさらに明確にし、授業改革を意識した授業研究に全教師で取り組む。
- ・「総合的な学習の時間」、道徳、学活、教科、学校行事等、全教育活動の中で「人とかかわる力」を養う。

平成16年度「総合的な学習の時間」全体計画

東海市立大田小学校

学 年	単 元 名	活動時期	時間数
3年生 (105時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・英語活動 ・日本文化体験活動 ・水の大切さ ・生と死 ・探検に出かけよう ・コンピュータとなかよし 	通年 10月～ 1月 5月～ 9月 1月～ 3月 4月～11月 通年	20時間 15時間 30時間 6時間 17時間 17時間
4年生 (105時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・英語活動 ・日本文化体験活動 ・コンピュータで自分の思いを伝えよう ・作物を育てよう ・愛知用水 ・2分の1成人式を開こう 	通年 6月～10月 5月～ 2月 9月～12月 4月～ 7月 10月～11月	20時間 12時間 20時間 18時間 26時間 9時間
5年生 (110時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・英語活動 ・日本文化体験活動 ・水道がないって不便だな ・きれいな水の秘密を探ろう ・水源地の水に「触れて・確かめ・考えよう」 ・平洲先生から学ぶ ・林間学習～みんなで作ろう～ ・命を見つめよう～食生活を通して～ 	通年 10月～11月 4月～ 6月 7月 7月～ 9月 12月～ 1月 6月～ 7月 1月～ 3月	20時間 15時間 14時間 7時間 14時間 10時間 7時間 23時間
6年生 (110時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・英語活動 ・日本文化体験活動 ・水について ・命 ・修学旅行を作ろう ・一人はみんなのために、みんなは一人のために 	通年 10月～11月 10月～11月 1月～ 2月 4月～ 6月 4月～ 6月	20時間 15時間 27時間 11時間 12時間 25時間